

LIBERAL DEMOCRATIC PARTY KATSUSHIKA CITY ASSEMBLY

自由民主党 会報

令和8年 2026 5月号

KATSUSHIKA
心ふれあう住みよいまち 葛飾区



ホームページもチェック!

Q 葛飾区議会 自由民主党議員団

検索

jimin-katsushika.com



令和8年第1回定例会が開催されました

令和8年2月16日から3月27日の40日間の会期で令和6年第1回葛飾区議会定例会が開催され、予算案9件、条例案19件、契約案2件、その他案4件、議員提出議案6件、請願8件についての審議が行われました。



代表質問
筒井 たかひさ

DXによる経営改革と 将来を見据えたまちづくり

◆令和8年度当初予算案

問 これまでの起債抑制の方針を変換し、令和8年度当初予算案では特別区債が計上されている。なぜ起債することにしたのか伺う。

答 本区では長く続いたデフレ経済下で積極的に基金を活用し、起債を抑制した財政運営を行ってきた。しかしインフレ経済への移行により現金の実質価値が減少する状況に加え、令和8年度は大規模事業が重なっているため特別区債を活用することとしたものである。今後も特別区債と積立基金のバランスに考慮しながら、持続可能な財政運営を行っていく。

◆他の質問項目 経営改革への取り組みなど

◆今後の葛飾区の教育行政
問 小学校から中学校への移行期における「中1ギャップ」の解消に向けて、家庭学習任せにせず一人一人に寄り添った解消を図るとともに、小学校5・6年生の教科担任制の導入についても更に進めるべきと考えるが、区の見解を伺う。

答 中1ギャップの解消に向けて、各小学校では「葛飾教師の授業スタンダード」に基づいた授業改善を推進し、基礎学力の定着を図っている。また小学校における教科担任制は令和5年度からモデル的に導入を行っているが、メリットがある一方で時間割の編成などに課題もあるため、令和8年度はモデル実施校を拡大して効果や課題を更に検証していく。

※他の質問項目 部活動の地域連携・地域展開 など

◆新庁舎整備を見据えた DXによる経営改革

問 DXによる窓口改革は「来庁が原則」から「オンラインが原則」へ設計思想を転換しながら改革を推し進めていく必要があると考えるが、区の見解を伺う。

答 DXによる窓口改革は単なる業務の効率化ではなく、行政サービスのあり方そのものを見直す取り組みであると認識している。DXを行政サービスの質を高める基盤として位置づけ、窓口改革を着実に推進していく。

※他の質問項目 水職員の業務負担 など

◆立石駅周辺のまちづくりと 救急医療体制の構築

問 大規模救急病院が施設の老朽化や機能強化のために建て替えを検討する時期にあることについて、区は把握しているのか。また病院が区外へ転出した場合、区内の救急受入能力や災害時の医療体制へどのような影響がでると考えているのか、区の見解を伺う。

答 救急医療体制の確保は、区民の生命と健康を守る上で非常に重要である。区内の大規模救急病院のいくつかは建て替えを検討する時期となっていることは認識しており、区外へ転出した場合に大きな影響が生じると想定される。そのため区内における救急医療体制および災害医療体制の維持・確保に努めることが重要であると考える。

※他の質問項目 整備手法 など



◆活力のある健康長寿の街づくりについて

問 現行アプリの契約は令和9年度迄のことですが、次期アプリの導入にあたっては効果検証をしっかりと行い、利用者の声を反映し、健康寿命の延伸に向けてアプリをより良いものへと、発展させていくことが必要だと考えますが、区の見解を伺います。

答 現行アプリの契約期間は令和9年度までであり、令和8年度には現行アプリの効果検証などを行った上で、次期アプリの導入検討を進め、令和9年度には次期事業者選定を行っていく予定です。利用者の声は、アンケートやご意見などをしっかりと分析し、健康寿命の延伸といった大きな目標達成に向けて、より使いやすく魅力あるアプリへと発展させるよう、関係各課と連携協力を図りながら取り組んでまいります。

◆空家等対策について

問 令和5年に空家特措法が改正し、「管理不全空家等」が創設され、行政がより早い段階で、所有者に適切な管理を促すことができるようになりまし。代執行が最終手段となると、特定空家を増やさないために、管理不全空家に対する特定空家の未然防止が重要であると考えます。「管理不全空家等」の制度は特定空家を未然に防ぐ重要な制度ですが、認定基準の明確化や所有者への指導・勧告を、現場でどのように運用し実効性を担保しているのか伺う。

答 「管理不全空家等」については、外観目視による調査を行った上で、国のガイドラインで示された基準をもとに認定するものであり、認定次第、速やかに所有者への指導・勧告を行っていくものと考えています。特に、来年度は460件近くの空家の一斉外観調査を行う予定であり、その結果を踏まえ、「管理不全空家等」への認定を進め、所有者への適切な指導・勧告を実施してまいります。

常任委員会ダイジェスト

区政に関わる案件をより能率的、専門的に審査する為に、各議案は事務部門別に設置された4つの常任委員会に付託し、議論しました。

総務委員会



政策経営部、施設部、地域振興部、産業観光部などを担当

令和7年度一般会計補正予算、葛飾区教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例、工事請負契約締結などの議案や請願の審査のほか、リリオ亀有リノベーションプロジェクトの取組状況と今後の方向性、マイナンバーカード休日交付窓口の拡大、商店街装飾灯管理費助成の拡充、機械設備メンテナンス等助成事業の新設などの、所管事項の庶務報告を受けました。

わが会派は、補正予算や議案は妥当であると認め賛同したうえで、学校の改築工事について、校庭などを児童・生徒が早く使えるよう、全ての工事ができるだけ早急に完了するような視点を持って、努力するよう強く要望しました。

保健福祉委員会



福祉部、健康部、子育て支援部、児童相談部などを担当

葛飾区認知症と共に生きるまちづくり条例、葛飾区特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例などの議案の審査のほか、特別区区民葬儀における助成制度の創設、葛飾区認知症施策推進計画(案)、送迎保育ステーションモデル事業の実施状況及び今後の事業展開、シルバーパス購入費助成事業、住宅宿泊事業及び旅館業の適正な運営の推進に係る今後の取組、妊婦向けRSウイルス感染症の予防接種などの所管事項の庶務報告を受けました。

わが会派は、区長提出の議案に賛同したうえで、火葬場については、他区と連携し特別区長会を通じて国に対して助成を訴えるよう強く要望しました。

建設環境委員会



環境部及び都市整備部に関する事項を担当

事務手数料条例、自転車駐車場及び自転車置き場条例の一部改正などの議案や請願の審査のほか、地域間連携による森林整備事業、全国みどりと花のフェアかつしか、木造住宅耐震助成、水と緑の基本方針・実施プランの策定、堀切地区・金町駅周辺・高砂駅周辺のまちづくり、不燃化特区における建替え助成などの所管事項の庶務報告を受けました。

わが会派は、区長提出の議案は妥当であると認め賛同したうえで、京成押上線連続立体交差事業にあたっては、一日も早く安全な踏切に、高架になることを願い、京成電鉄と連携を取りながら進めいくよう要望しました。

文教委員会



教育委員会に関する事項を担当

幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部改正などの議案や請願の審査のほか、学用品の学校備品化、防災ヘルメットの全校配備、中学校部活の地域連携・地域展開推進方針(案)、かつしか教育プランの取組、小菅西公園運動場スケートボード場の開設など、所管事項の庶務報告を受けました。

わが会派は、区長提出の議案に賛同したうえで、今後の水泳指導にあたり、屋内温水プールを活用した水泳指導は効果的な取組であるため、スピード感を持って小学校の全校移行を進めていく必要がある。そのため、現在進めている新宿とお花茶屋の屋内温水プールの整備を、確実に進めていくよう要望しました。

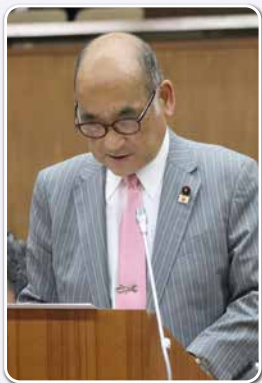
代表質問 筒井たかひさ

◆将来を見据えた行政組織の運営

問 将来的に人口が減少する予測の中、将来を見据えた行政組織の運営と長期的な財政運営を踏まえた区民サービスのあり方について、区の認識を伺う。

答 本区が将来にわたって繁栄するためには、魅力的なまちづくりを推し進め人口総数の維持・増加を図ることが重要である。そのため、快適に暮らせる都市環境を創造するとともに、DXの推進などの経営改革に取り組み、時代に即した行政サービスを提供することで「選ばれるまちづくり」を推し進め、人口維持を図っていく。

※他の質問項目 行政組織編成 など



一般質問 池田ひさよし

◆新たな公共空間整備による地域活性化に向けて

◆堀切のまちづくり

問 旧小谷野小学校に新たに整備する施設には、各機能を横串にするコワーキングが不可欠ではないか。

答 新施設の防災、子育て支援、スポーツ、文化活動、交流・憩いなどの機能を有機的に連携させ、多目的ラウンジに人々を呼び込むようなイベントや教室の企画・運営ができるコワーキング機能について、他自治体の事例などを参考に検討を進める。

※他の質問項目 施設の駐車場 など

◆堀切菖蒲まつりを活用した地域活性化

問 菖蒲まつりのさらなるにぎわいの創出に向け、京成電鉄などと連携した取り組みが必要ではないか。

答 電車というコンテンツの活用は、地域活性化に有効であると考えます。菖蒲まつり運営協議会や商店街と一緒に検討しながら取り組んでいく。

※他の質問項目 夜のにぎわい創出 など

他の質問

●堀切五丁目歩行環境改善、区の文化財等



一般質問 高木 信明

◆地域防災力の向上と各種施策の推進を

◆今後の震災対策

問 震災時、外部から提供される物資を円滑に受け入れ、迅速に区民に届けるための物流計画の策定状況と、今後の対応策について伺う。

答 令和8年度に区内の物資受け入れから輸送・配分に関する課題整理と検証を進め、災害時物資輸送計画を策定する。また、新たな協定の締結や計画の具体化に向けた協議を進める。

※他の質問項目 消火器購入助成制度 など

◆自転車利用者の安全確保

問 青切符制度導入を契機に、自転車と歩行者が共存できる持続可能な交通環境を構築していくべきではないか。

答 一定の幅員が確保できる道路に自転車通行空間を整備する物理的な整備に加え、交通ルールを守るための啓発・教育活動を一層強化していく。

※他の質問項目 自転車損害賠償保険への加入促進 など

◆金民間空襲等被害者見舞金制度

問 本区も制度を創設し、長年苦しんでこられた区民にいたわりとお見舞いのメッセージを送るべきではないか。

答 戦争被害者の高齢化が進んでおり、区としても判断しなければならぬ問題と考えている。先行する他自治体を参考にしつつ、制度の創設に向け、具体的な検討に着手する。

他の質問

●スマートフォンの障害者向け日常生活用具化、不登校対策



代表質問 安西まさのぶ

◆予算審査特別委員会総括質疑

◆令和8年度当初予算(案)について

問 今後の財政運営においては、金利動向や物価変動を注視しながら、基金繰入と起債発行のバランスを柔軟に見直していく必要があると考えます。区民が将来にわたって使う公共

施設の整備に要する財源は、起債の活用も大切ですが、基金もまた重要な役割を担っており、将来に備えて基金の積立もしていかねばなりません。現在、基金残高が減少傾向の中、どのように基金を積み立てていくのか、区の見解を伺います。

答 公共施設等整備基金については、令和7年度は70億円ほどを積み立てる見込みですが、これからも決算剰余金や効率的な予算執行で捻出した財源などを活用して補正予算で積み立てるとともに、財政状況を見極めながら当初予算でも積み立てを進めてまいります。また、起債の代替えとして行った基金の取崩し分については、元金償還に相当する額を毎年度、基金に積み戻すほか、街づくり事業で財政調整交付金に算定された分も基金に積み戻しを行ってまいります。今後も、起債を効果的に活用することにより、基金残高の確保を図るとともに、決算剰余金や効率的な予算執行で捻出した財源などを活用して、基金を着実に積み立ててまいります。

◆生成AIチャットボットを活用したAIコンシェルジュの創設について

問 職員用の生成AIの活用が進む今、公式ホームページを常時巡回して、RAGシステムに読み込ませることで、データ更新に係るコストを抑え、葛飾区専用AIコンシェルジュを誕生させることができるかと考えますがいかがでしょうか。また、AIによるハルシネーションという課題もあります。区の見解を伺います。

答 RAG(検索拡張生成)は、あらかじめ限定・整理された信頼性の高い情報源を参照して回答を生成するため、ハルシネーション(AIによる誤情報の生成)の対策としては有効です。公式ホームページ(1日4回更新)を定期的に巡回して得た情報を生成AIに登録することは、生成AIへの学習コストが抑制でき、区民からの問合せに対し、最新情報に基づいた回答をする仕組み構築が可能です。一方、RAGを活用した場合であっても、情報の更新を適切に行う必要があります。区としては、こうした点を踏まえつつ、先行自治体の事例を注視しながら、区民サービスの向上につながる生成AIの区民利用について検討してまいります。

誰もが安心して暮らせる葛飾の実現のために

予算審査特別委員会での自民党の要望

総務費

総務管理費の多文化共生社会推進については急激に変化する社会情勢について外国の方々との共生について対応する取り組みを求めます。また、災害対策や避難所運営の現場で中心的役割を担う人材の育成を進めるため、防災関連資格の取得支援を積極的に、地域防災力向上につなげる事を要望する。また、避難所における外国人対応力強化と、災害対策費では感震ブレイカー助成について申請制度の簡素化と希望者全員への助成を求める。

産業経済費

人口減少に伴う生産年齢人口減少を見据え「しごと発見プラザ」を通じた区内企業への支援を強化し地域経済の安定を図る柔軟な対応を要望する。

デジタル管理費

A-1の進歩に伴い様々なソースの専門性向上リーガルチェックの構築などA-2を駆使した法務DXのフロントランナーとなる事を要望する。葛飾納涼花火大会では、区民先行の楽しめる運営をするとともに、対岸の松戸側の有料化の検討も求める。

社会福祉費

民生児童委員の充足率向上についてOB、OGの協力を願うと共に定期的に広報紙による周知を望む。くらしまるごと相談事業では引きこもりをはじめとする社会的孤立状態にある方の居場所づくりや社会参加支援、誰も取り残さない社会となるよう一層の取組みを求める。重度訪問介護事業は、重度障害認定の半数が非定型であり、障害程度に対する支給時間、加算可能時間等の基準改定を要望する。乳幼児通園事業の子ど

も誰でも通園制度は、保護者、事業者等の意見も伺いサービス向上につながるよう求める。高齢者に関しては、介護人材の拡充、介護する家族に対する支援を要望する。

衛生費

民泊の制度充実、閉庁中の苦情対策対応等の外部委託化等。しっかりとした取組みを求める。今年度のがん検診無償化を進め、肺がん以外にもA-1読影の導入を望む。受動喫煙対策については、民間活力も活用しながら、ソフト、ハード両面での街作りを要望する。

環境費

全国みどりと花のフェアかつしか事業は、引き続き負担金の支出抑制に向けた動きを要望。集積所管理システム運用は、収集ルート等のシステム化とリサイクル推進事業は、古布巡回回収の拠点の最適化と木製家具のリサイクル推進を要望。

都市整備費

新金線を活用した新交通推進事業は、専用道構造の安全確保、先端技術の活用、沿線地域の活性化を求める。交通安全広報活動事業は、ヘルメット着用する動機づけや、スタントマンの実演イベントなど、踏み込んだ対策を要望。中川かわまちづくり事業は、水辺空間までの動線整備や緊急時の船着場の利活用、全国みどりと花のフェアとの連携イベント開催を要望。新宿交通公園整備は、ライセンス料の交渉を進め、協働して区のシンボルとなる地域公園の整備を要望。地域の身近な公園整備事業は、白鳥北公園の早期整備を、また、宝町公園は、防災活動拠点として、地域の声をしっかりと反映した整備を求める。

教育総務費

フリースクールに通う生徒の卒業後の進路について生徒と保護者に寄り添う支援を要望する。スタディサプリを活用し、家庭ではインプット学校ではアウトプットをする場として学力定着・学力向上のための取り組みを求める。教職員への危機管理研修だけでなく、教育の日などを利用し子供たちや保護者も防災知識を深められるような場が必要であり危機管理課と連携を図るよう要望する。

小学校費

学校給食における有機米の提供について多くの子供達に提供できるように取組みの拡大を要望する。旧松南小学校跡地の活用は将来の活用ビジョンを見据え周辺道路の整備も含め進めるべきである。中学校費について、双葉中学校の夜間中学校の教育環境の整備を進めるよう求める。

社会教育費

図書館運営は区民の声を聞き、区として正しく事業者の評価をすべき。水元公園スケートボード広場整備は利用者のマナー定着の工夫をし、将来性のある施設の完成を要望する。葬祭費について区民の負担軽減を要望する。



視察レポート

東京少年鑑別所、東京法務少年支援センターねりま青少年心理相談室

東京少年鑑別所では、家庭裁判所の依頼に基づき、少年の心身の状態や生活歴、家庭環境、非行に至る経緯などを把握するための鑑別が行われています。あわせて、観護措置のもとで生活や行動を観察し、処遇方針を提案する役割を担っています。

また、法務少年支援センターでは、地域援助機能により非行の未然防止や早期支援にも取り組まれています。

家庭裁判所で扱われる事件のうち、鑑別所での鑑別は一部で、期間はおおむね3～4週間です。少年院送致は限られており、多くは地域での立ち直りを目指すため、地域での受け止めが重要とされています。

近年は、特殊詐欺やSNSトラブル、窃盗、薬物等、社会環境の変化を反映した問題が見られます。入所者は主に中高生ですが、小学校高学年の事例もあり、外国にルーツを持つ少年の増加などへの対応も求められています。



地域援助では、保護者や学校、福祉関係者などからの相談が増加しており、関係者が連携した支援が重視されています。施設はセキュリティにも配慮され、地域とのつながりを大切にする姿勢が感じられました。

今回の視察を通じて、子どもの問題行動が深刻化する前の早期相談体制の充実や、関係機関との連携の重要性を改めて認識しました。

自民党議員団としても、再非行防止に向けた地域での受け止めと伴走支援の充実に取り組んでいく必要があると感じました。



発行：葛飾区議会自由民主党議員団
電話：03-3695-1111 (葛飾区立石5-13-1)



お気軽にご意見をお寄せください！
発行責任者：筒井 たかひさ
編集長：大森 ゆきこ
編集委員：伊藤 よしのり